

一般質問通告事項一覧表

平成21年 第2回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	笠原 啓仁	国の経済対策と本町の対応について	<p>平成20年度第2次補正予算や先日成立した平成21年度第1次補正予算などにより、国は100年に一度と言われる大不況に対し緊急の経済対策を行っています。本町においても先日の議会初日に報告されたように平成20年度の第2次補正予算関連については、本年度に繰り越して多方面にわたる事業が実施される予定となっています。</p> <p>しかし、緊急経済対策と言われている割には本町においてはその緊急性が発揮されていないとの声が聞かれます。そこで、以下の点についてご説明ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国の平成21年度第2次補正予算関連の本町における事業の実施状況が先日の議会初日に報告されました。町民のあいだには「もうちょっと急げないのか?」「地域経済対策と言われるが実感できない」との声があります。「遅い」「実感できない」原因はどこにあるのでしょうか? 2. 先日の総務委員会では国の平成21年度補正予算(追加経済対策)で予定されている本町への交付金について若干の説明がありました。 平成20年度の予算すらまだ未実施の事業が多くあるなかで、さらなる交付金が町民に実感できる形で速やかに消化できるのかどうか疑問です。本町としてはどう対応していくのでしょうか。 	町長	
2	〃	国民健康保険税について	<p>5月22日の第5回臨時議会で平成20年度の国保会計が赤字になるとの理由から約1億円の繰上充用が決められました。この際に行われた質疑に対し町長は「私としては値上げしたくないが、だからと言って一般会計から繰り出すのは国保以外の人との公平性からして難しいのではないかと。そうすると、やはり将来的には値上げも考える必要が出てくるのではないかと」の趣旨の答弁をいたしました。そこで、あらためて今後の国保会計及び国保税のあり方について以下の点について町長の考えをお聞かせください。 (次頁へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(2)	笠原 啓仁		<p>(前頁より)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国保加入者とそれ以外の町民との公平性及び国保加入者間の公平性をどう確保していくのでしょうか。 2. 滞納処理が進まないなかでの国保税の値上げは、上記の公平性を極めて欠くことになると思いますが、いかがでしょうか？ 3. 未曾有の経済危機で町民の生活も厳しくなっています。そうしたなかでの国保税の値上げは、滞納者の増加に拍車をかけることが懸念されます。この辺については、どう認識されていますか。 	町長	
3	〃	「平和市長会議」への加盟について	<p>今定例議会初日に本町議会は「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を全会一致で採択しました。あらゆる国の核実験・あらゆる形での核実験・あらゆる理由での核実験に反対する本町議会の強い意思を表明した決議です。そこで、以下の点についてお聞かせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年3月に「平和市長会議」会長名(会長=秋葉忠利広島市長)で加盟を呼びかける要請書が本町にも届いていると思います。その要請書を資料としてご提示ください。 2. 後志管内では蘭越町と黒松内町がこの「平和市長会議」に加盟しています。町長としてもこの「会議」に加盟し、議会とともに核廃絶に向けた意思表示をしてはいかがでしょうか。ちなみに、この会議に加盟したことによる年会費等の負担は一切ありません。 <p style="text-align: center;">平和市長会議の目的</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平和市長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、核兵器廃絶を実現させるとともに、人類の共存を脅かす飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決、さらには環境保護のために努力することによって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。</p> </div>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
4	笠原 啓仁	「体罰」をめぐる最高裁判決について	<p>最高裁は今年4月28日、小学校2年生の児童が教師から受けた行為について「体罰に当たらない」との判決を出しました。今回の判決はあらためて「体罰とは何か」を考えさせるものとなりましたが、この判決に対する専門家や現場の教師の評価はさまざまです。そこで、以下の点についてご説明ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本町教育委員会として今回の判決をどう評価されているのでしょうか。 2. 教育現場における「体罰」の定義や基準のようなものがあるのでしょうか。 3. 今回の判決を受け教育委員会や各学校における「体罰」に関するあらたな取り組みなどがあるのでしょうか。 	教育長	
5	〃	「スクール・ニューディール」政策について	<p>平成21年度の国の追加経済対策のなかに「スクール・ニューディール」政策が盛り込まれています。予算額も公立学校分だけで約1兆1000億円と膨大な規模となっています。この政策は、全国の小中学校の耐震化やICT環境の整備を推進するという内容のようです。</p> <p>本町にもこれに関連したお金が交付されると思いますが、その規模と本町としての事業計画についてご説明ください。</p>	教育長	
6	荒野 洋子	景気対策について	<p>雇用対策は進んでいますか。</p> <p>定額給付金は町内業者活性化に影響ありましたか。</p> <p>定額給付金とプレミアム商品券について</p> <p>イ 発行日時は適切でしたか。</p> <p>ロ 交換上限を前回より上げた理由。</p> <p>ハ 発行、交換の事務費は。その予算は。</p> <p>ニ 今回の全発行額は。又何人が交換出来ましたか。</p> <p>以上 お伺い致します。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
7	荒野 洋子	本町における新型インフルエンザ対策について	<p>世界的流行のおそれを心配された今回の新型インフルエンザは日本も感染国となり、水際作戦以外からも感染が広がり、その根深さが心配されます。</p> <p>当町での危機管理対策についてお伺い致します。</p> <p>病院の対応、予防薬、入院時の備え、生活の応援者はいるか、などなど。</p> <p>このところ少し沈静化にむかっていると報道されていますがこの秋、寒さに向うころが、患者が増えるのではとも言われておりますので、今から、取れる対策を御説明下さい。</p>	町長	
8	〃	期末手当基礎額について	<p>この「仕組み」は町民には判りづらい制度であると言われております。</p> <p>この「仕組み」はどのようにして生まれたのでしょうか。人事院勧告によって生まれたのであれば、その時の勧告を資料として提出していただき、説明をしていただきたいと思います。</p>	町長	
9	竹内 隆	地域医療の確保にむけて！	<p>1．北海道の第2次保健医療福祉圏（後志圏域）の中で倶知安厚生病院はどのように位置付けられておりますか？</p> <p>2．その位置付けにもとづいて、国・道・圏域内市町村は、倶知安厚生病院に、どのような行政対応をしているのでしょうか？</p> <p>3．今回、地域医療再生基金（3100億円）が設置されるとのことですが、その概要と、地域医療の確保・充実にどのような形で具体的な効果をもたらすものと、考えていますか？</p> <p>4．いま、私たち町議は多くの町民から背中を押され厚生病院の健全な運営の確保へ向けて頑張らなければならないという気持ちになっています。地域医療の確保は、町長と町議会が、色々な枠を乗り越えてがっちりとスクラムを組んで取り組まなければならない課題で（次頁へ続く）</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(9)	竹内 隆		(前頁より) す。町長は、この課題にどのように取り組もうとしているのか？その所信を開陳して下さい。	町長	
10	"	国保と下水道 - その事業赤字への町の対応について	今回発生している国民健康保険事業の赤字について、町としては一般会計繰出しによる解消はしないという方向が説明されています。下水道については事業開始以来その赤字は、一般会計に繰出しによって補てんされつづけてきています。 この対応の差はどのような位置付けによって生まれるのでしょうか？	町長	
11	"	農業者の営農持続支援対策について	1. 農業後継者育成対策の実施状況は？ 2. 花嫁、花婿確保対策の実施状況は？ 以上、農業の持続的発展のために必要不可欠な人的基盤の整備策について2点お尋ねをいたします。	町長	
12	"	町民の声	日常生活の中から生まれた疑問や要望が町民の声として私のところに届きましたので、質問という形で代弁いたします。 1. 高校通り(町道)について 雨が降るとたくさんの水たまりが出来て大変なのですが、何とかありませんか？ 2. 町職員のアルバイトについて どのようなものが、どのような手続きで許されるのでしょうか？ 3. パークゴルフ場に隣接する雪捨て場について パークゴルフ場の増設に伴い、この雪捨て場はどうなるのでしょうか？ 4. 白樺団地改築に伴う引っ越し料について 改築に伴う引っ越しに支払われる移転料は、どのような形で支払われるのでしょうか？ 5. みなみ保育所グラウンドの除雪について 例年だと修了式ころまでには済まされていましたが今年は大分遅れてしまいました。いつものように早めにされるようお願いをいたします。	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	磯田 龍一	省エネに対する本町の 取り組み	<p>今日、自然環境を守り、資源を大切にする「省エネ」の重要性は、世界共通の理念として定着し、地球的な課題として取り進められています。</p> <p>こうした背景から、国も今回、補正予算にエコ三本柱（省エネ家電、エコカー、太陽光発電）の施策を導入して、省エネ家電を対象とした「エコポイント制度」や、エコカーの購入時に最大25万円補助する制度を創設し、普及促進を図り、将来の経済成長力の強化を打ち出しています。こうした中、本町に於ける取り組みについてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．公共施設に於ける（太陽光、風力発電等）自然エネルギーの導入（グリーンニューデール）の取り組み。 2．省エネに対する、行政の普及促進の具体的課題をお聞きします。 3．街路防犯灯のLED化の導入について。 4．その他 	町長	
14	佐名木 幸子	ノースパークタウンの 遊具と環境整備について	<ol style="list-style-type: none"> 1．敷地内に設置されている滑り台がブルーシートで囲われ「きけんあそばれません」と標示してありますが、この滑り台はどのように危険なのかご説明下さい。 <p>ブランコも座る部分に張り付けのゴム製の物に亀裂があり半分は剥れ落ちてる状況です。修理等ご検討されているのかお伺い致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2．雑草が長く伸びており、草刈の管理は役場と聞いておりますが、その通りでしょうか？お尋ね致します。 <p>また建物の横側5号線沿いの法面一帯も雑草が密集、特にイタドリが丈が高くなっている状態です。</p> <p>昨年もこの状況で虫が多々発生したり、何度も蛇が出てきたと住民より苦情が寄せられております。</p> <p>小樽開発建設部に草刈の回数を増やす考慮を依頼されますように、ご尽力を賜りたいと思います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
15	佐名木 幸子	高齢者に関する相談窓口について	<p>高齢化率が進むに連れ多種多様な問題が山積されている中でも、暴力・介護放棄・虐待が家庭内で急増していることが報道されております。逆に介護に疲れ果て、心中、自殺など死を選択してしまう家族が少なくありません。</p> <p>また、近年増加傾向にある認知症は、本人も辛く、見守り、介助する家族も更に大変であります。不安や悩みの相談に無料で応じるコールセンターが2009年度から全国都道府県と政令市に順次開設することに厚労省は関連予算事業費約7億を計上しております。</p> <p>また、認知症患者の家族らでつくる「会」も全国的に多くなってきております。</p> <p>「会」では患者への理解や接し方の講演会を実施したり、介護の大変さの体験を通して語り、交流することにより家族も気持ちが楽になるとあります。倶知安町では地域包括支援センターが相談窓口になっておりますが、更に身近で気軽に話し合える「会」の設立をご検討頂き、窓口の拡大をと考えますが、町長のご所見をお伺いいたします。</p>	町長	
16	"	女性特有のがん検診推進事業について	<p>女性特有のがん、乳がん、子宮がんは早期発見治療により完治する率が高いとございます。</p> <p>先進国は8割～9割の女性が検診を受けていますが日本は2割～3割です。今、子宮頸がんが急増しており、年間2400人以上が亡くなっています。原因はウイルス（ヒトパピローマ）で感染を予防するワクチンも開発され、世界100カ国以上で承認、使用されていますが、日本ではまだ承認されておられません。</p> <p>5年以内に「受診率50%」達成への弾みを目標に掲げ、2009年度補正予算（216億円）が成立し、「女性特有のがん検診推進事業」がスタートします。各市町村ごとに準備が進められ対象者に検診手帳とともに無料クーポン券が配布され、順次検診が始まる方向性で、各市町村での積極的な取り組みが求められております。そこで、倶知安町の準備、進捗状況等についてお伺い致します。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
17	原田 芳男	新幹線について	<p>新幹線についてはさまざまな取り組みがなされているところですが問題も指摘されています</p> <p>在来線がなくなると困るという町民がおおかたですし、駅のない沿線町村では不便になるのではないのでしょうか。 倶知安町が率先して在来線存続のために努力しなければ協力も得られないと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>倶知安には新幹線は何本留まるのでしょうか</p> <p>駅前開発の考え方を明らかにしてください 規模は？金額は？</p> <p>町民アンケートなどで新幹線についてどう考えているのか聞いてみては？</p>	町長	
18	"	農業振興について	<p>肥料をはじめとして諸経費の高騰で農家は先行きに不安を感じています。</p> <p>また、大不況で出来秋の農産物価格も心配なところです。</p> <p>倶知安町の基幹産業である農業を発展させることは全体の経済にとっても重要であります。</p> <p>町としても様々な取り組みをしていますし、農業の発展に寄与していると考えています。</p> <p>そこで、さらに倶知安の農業を発展させるために、新たな展開が必要ではないのでしょうか。</p> <p>新しい作物はないのか、売り方はどうなのか、付加価値をつけるにはなど取り組んでいく必要があります。</p> <p>町や農業委員会、農協が一体となって取り組むことが求められています。そのためには町が中心となって取り組むべきではないのでしょうか。</p>	町長 農業委員会会長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
19	原田 芳男	後志広域連合と国保、介護保険について	<p>1. 本年度4月から国民健康保険と介護保険が後志広域連合で所管することとなりました。 国民健康保険は税の賦課、徴収は各町村が行ないそれ以外の業務を連合で行うこととなります。 本年の保険証の交付にあたり現年度滞納していなくても過去に滞納があると一律短期保険証の交付としています。 しかも納税相談で分割納付として遅延などがあっても頑張っている人まで対象にしています。</p> <p>これは倶知安町が決めたのか、広域連合が決めたのかどちらでしょうか 町民の暮らしに配慮すべきでは 国保は保険料の高いのが社会問題になっています。標準家庭で保険税は収入の何パーセントでしょうか</p> <p>2. 介護保険について 行政報告で歳入、歳出の差引ゼロになっていますがご説明ください 認定基準が新しくなり問題点が指摘されています。国は若干の手直しをしましたが基本は変えていません。 問題はありますか</p> <p>3. 地域医療の確保について 医師不足など地域医療は大変です</p>	町長	
20	"	中学校の統廃合について	<p>倶知安町学校適正配置審議委員会は4月20日、中学校の適正な学校規模として「12学級以上が適正規模と考える。」「両中学校を統合することにより適正規模な学校とする。」という答申を行いました。 (次頁へ続く)</p>	教育委員長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(20)	原田 芳男		<p>(前頁より)</p> <p>また、教育委員会は「この答申を十分尊重し、統合校の検討を行い、子どもたちの良好な教育環境を創るための『倶知安町立中学校の適正配置に関する基本計画』を本年7月を目途に策定し、統合校の耐震補強工事をはじめとする施設整備を明年度実施したいと考えております。」との見解を明らかにしました。</p> <p>1. 審議委員会の中間報告によると、中学校の小規模化の課題・諸問題として(1)学校教育・生活面でも(2)学校運営面でも(3)学校管理面でもデメリットが多いとして、それぞれ問題点を列挙しております。しかし、この指摘は一面的に過ぎるのではないのでしょうか。教育委員会が先に行った「小・中学校の適正配置」の説明資料によると、「学校の小規模化」によるメリットとして「子ども、教員、保護者の信頼関係が深い」「理解してもらえるとという安心感を得やすい」「個性や特性に応じた指導がしやすい」「一人ひとりが主役として活動できる」等々を列挙しておりますが、これこそ学校教育の本旨ではないのでしょうか。中間報告には小規模校のメリットが欠落しているのではないのでしょうか。</p> <p>「学校の規模に関しては、国際的には「100人を上回らない規模とする」という点で意見が一致しており、議論の余地はないといわれています。</p> <p>その論拠として、昨年8月号の「議会と自治体」という月刊雑誌に、三輪定宣千葉大学名誉教授が学校の統廃合問題について論文を寄稿しております。三輪名誉教授によると、国連のWHO＝世界保健機構は、「学校は100人以下が望ましい」「生徒100人を上回らない規模 - という点では世界の教育研究者の意見が一致している」と</p> <p>(次頁へ続く)</p>	教育委員長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(20)	原田 芳男		<p>(前頁より)</p> <p>指摘していること。また、「国際学力調査」を分析して、トップレベルの学力は教育システム全体にもよるが「小さな学校」が決定的要因と指摘しているのであります。</p> <p>政府は「構造改革」「三位一体改革」のかけ声で、自治体の合併による経費の削減や、教育費の削減のために学校の統廃合を推し進めています。しかし「効率化」一辺倒では評判が悪いとして、「08年の骨太の方針」で「教育の観点から学校の適正配置」といいました。これは時代錯誤の方向転換といわなければなりません。</p> <p>こうした背景を考えますと、いま求められているのは両中学校の耐震化工事の実施ではないでしょうか。「適正規模・適正配置」により「学校として最大限の機能を発揮」し「教育効果」を高めるといふのは、議論のすり替えというそしりを免れないのではないのでしょうか。結論先にありきではなく教育論議を尽くすことが求められていると考えるものであります。</p> <p>2. 両中学校の統合に必要な経費についてお尋ねします。</p> <p>両中学校を統合するためには、いくつかのパターンが考えられますが、経済比較が可能な資料の提供を求めるものであります。</p> <p>3. 「基本計画」は7月を目途に策定する。また、「基本計画の策定にあたっては、基本計画の素案の公表、パブリックコメントの募集、地域説明会の開催」を明らかにしていますが、その進行状況等について具体的に説明していただきたいと思います。</p> <p><資料要求> 審議会の議事録 質問中2に関わる資料</p>	教育委員長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
21	森下 義照	平成20年度国の2次補正予算並びに平成21年度俱知安町一般会計予算の進捗について	<p>平成20年度国の2次補正予算の進捗について、8日の第2回定例会初日に国の2次補正予算に係わる進捗状況の説明があり、契約済み10件、今後の契約11件、実施中2件でしたが、事業に対する対応が遅く感じられます。</p> <p>2次補正の分は、早い時期に決定しているのであり、遅くとも5月中に予定の全契約完了や事業の開始がなされることにより補助事業による活性化の雰囲気町民に伝わり良い影響を与えたのではないかと思います。</p> <p>又、平成21年度一般会計予算についても、数多くの事が予算化されておりますが、現在のところ動きが見えていない感じが致します。いろいろ事業の山積で大変かと思いますが、それぞれの内容を良く精査して早期に、計画事業の進捗を図る事が必要だと考え、進捗状況資料も提示下さい。</p> <p>また、21年度国の補正も察知しており益々事業の山積になると思しますので、積極的な進捗動向により地域経済を支える産業の活性化につなげていくことが大切だと思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。</p>	町長	
22	"	住宅用火災報知器設置の普及の促進について	<p>住宅用火災報知器の取り付け義務化が、平成18年6月1日に施行され各市町村毎に条例が定められ、原則として平成20年5月31日、遅くとも平成23年5月31日を期限として、設置完了期日が定められています。</p> <p>すでに設置済みの自治体もありますが、当俱知安町も、住宅用防災機器を設置し維持しなければならないと羊蹄山麓消防組合火災予防条例で定められております。</p> <p>この条例に基づき、俱知安町も平成23年5月31日までに実施しなければならないと考えます。これは、国からの義務付けでもあり、自治体でも何らかの形で助成して取り付けの促進を図ることが必要だと考えられます。他自治体では全額負担で各家庭に取り付け完了したところもあり、また、一部負担で促進しているところもあります。</p> <p>このことから、俱知安町としても7,300世帯中公的な住宅を除き約6,000世帯に対し一定の助成をして、国からの義務化に対して早期に従い、町長が町民に対して安心で、安全に暮らせる町づくりを（次項へ続く）</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(22)	森下 義照		(前項より) 提唱していることからその責任を果たすべきと思いますが、町長の今後の対応をお聞かせ下さい。	町長	
23	盛多 勝美	倶知安町の馬鈴薯生産の環境対策について	<p>倶知安町の馬鈴薯生産を将来に向けて守っていくために、次の点について、どのように対応されていきますか。</p> <p>一般圃場のシストセンチュウ検診密度の現状と更新種馬鈴薯圃場の確保は大丈夫でしょうか。(シスト拡大による、種芋の生産の危惧、対策強化)</p> <p>現在の種馬鈴薯作付面積(1300ha)からすると3年輪作が実態と推測しますが、5年輪作を提唱していると思いますので、経営規模別の状況と認定農家の経営改善計画の指導については、どのようにされているかお知らせください。(3年輪作でよいのか、5年輪作は不可能か。)</p> <p>馬鈴薯生産農家の方々は、種馬鈴薯の選別された規格別の購入を希望しておりますが、出荷対策協議会では、今後導入の計画はあるのでしょうか。</p> <p>以上、本町の農業の基幹作物である、馬鈴薯の環境について、本町としての今後の取り組みについてお知らせください。</p>	町長	
24	〃	地域医療の確保について	<p>地域住民にとって、安心して生活できることは、近くに信頼できる病院があることでないでしょうか。</p> <p>4月9日の北海道新聞の記事によりますと、「倶知安厚生病院を運営している」A道厚生連は、同病院の赤字を削減するため、羊蹄山麓七町村に二億円の財政支援の要請をしている」と掲載されておりましたが、この要請を受けてどのように検討されているのか、お聞かせください。また、その要請内容等ですが、倶知安厚生病院全体の経営に対する支援なのか、救急医療に対する支援なのかお伺いしたい。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
25	盛多 勝美	定額給付金について	<p>倶知安町の定額給付金の申請手続きは、4月1日から始まり2ヶ月が経過しましたが、どのような状況がお知らせ下さい。</p> <p>最終期限は。</p> <p>申請手続きをまだされていない方々への今後の対応は。</p>	町長	
26	吉田 巖	危機感が欠けていると思われる予算の執行状況ではないですか？	<p>緊急経済対策による国の2次補正予算を活用した、本町の総額約1億4000万円の事業予算は2月の臨時議会で可決され、この予算は新年度予算の前倒し事業として21年度に繰り越されました。</p> <p>この内約1億円は町民生活に直接関連する道路や建物の修繕工事等であり、これら公共事業の創出によって、少しでも地域経済の底上げにつながるものと期待し、私は3月定例議会において工事の早期発注について町長に要望してきたところであります。先般報告あった進捗状況によるとほんの一部を除いてほとんどが6月以降の契約であります。特に教職員住宅屋根塗替修繕事業は10月契約予定となっております。この内容からして適当な時期でしょうか？</p> <p>2月に臨時会まで開いて決めた予算ですが、この意義を理解されているのでしょうか、経済に対する危機感が欠けているように思われなりません。早期に執行できない理由はどこにあるのでしょうか、職員体制でしょうか。町長の見解をお尋ねします。</p>	町長	
27	〃	新防衛大綱に向けた駐屯地の存続運動について	<p>新「防衛大綱」(2010-2014)の決定に向けて、これまでも北海道自衛隊駐屯地連絡協議会(事務局千歳市)は北海道の自衛隊体制維持を求める運動を積極的に展開して来ておりますし、本町も町長が町民の先頭になって駐屯地の存続に力しているところですが、今回の見直しは北海道の体制維持にも大変厳しいものがあると聞いておりますが、新大綱の見直し状況など現時点での分かる範囲でお聞かせ(次項へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(27)	吉田 巖		<p>(前項より) 下さい。 また、本町の運動の取り組みも、従来の陳情形のみ依存するだけでなく、もっと町民の意識を喚起するため町民集会などメリハリのついたことが考えられないか、町長の見解をお尋ねします。</p>	町長	
28	榊 政信	厚生病院の経営改善と地域医療について	<p>倶知安厚生病院は、倶知安町をはじめとする羊蹄山麓の地域医療の拠点としての役割を担っています。 本町としても病院増築の助成や産科存続に向けた助成など様々な取組を行なっているところです。 倶知安厚生病院の経営環境は、国の診療報酬改定や医療制度改革などにより常勤医師不足や出張医人件費の増大などで経営が圧迫されており、山麓町村に更なる財政支援や医療の協議の場の設置の要請があったと聞いております。 新聞報道では、ベッド数や看護師の削減、最新鋭の医療機器の導入や医師の配置など経営改善に向けた対策を順次実行しているようです。経営努力が支援の条件でもあるようですが、本町として、地域医療体制の確保の観点から、どのような対応をとっていくのでしょうか。これまでの経緯と現在の状況、そして、今後の対応についてご説明願います。</p>	町長	
29	〃	経済対策とまちづくりについて	<p>追加経済対策として国の21年度補正予算に盛り込まれた「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」は、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域の事情に応じるきめ細やかな事業を積極的に実施できるよう交付されると聞いております。 倶知安町では、どのような事業を計画しているのでしょうか。 また、それらの事業の優先順位は、どのような経緯を持って議論、決定されているのでしょうか。 町長並びに教育長のご見解をお聞かせ下さい。</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
30	榊 政信	中学校改修のハードとソフトについて	<p>3月定例会で、小野寺教育長より子供たちの安全確保を最優先に考えて、中学校の耐震化工事を進めていきたい。そのために、今年度、設計を行い、22年度に工事に取り掛かりたいと答弁されております。また、築30年を過ぎていることから、大規模改修工事も合わせて行う考えを示されました。</p> <p>大規模改修については、環境省の「学校エコ改修と環境教育」事業（エコフロー事業）といった、改修工事を環境教育に結びつけた補助事業などもありますが、ハード事業として改修工事を完結させるだけでなく、様々なメニューを取り入れ、教育に活用することは学校ならではの事業だと思います。</p> <p>また、国の補正予算で「スクール・ニューディール」構想といった学校施設の耐震化やエコ化のメニューも提示されているようです。</p> <p>両中学校の統合を含めた基本計画案も今月に策定されるようですが、現在の状況や今後について教育長のご見解をお聞かせ下さい。</p>	教育長	
31	阿部 和則	若者の定住促進政策について	<p>現在、俱知安町、ニセコ町を中心に、冬場はスキー場で働き、オフシーズンはアルバイトをしながら生活している若者が増えています。ニセコ町の町営住宅にはそのような若者が100人位住んでいるとの情報もあります。全道で100を超える市町村が専門の窓口を設け、移住促進事業を展開している中で、当町においてはニセコに魅せられた若者が自然に移り住もうとしています。問題は、住宅の確保です。町営住宅は狭き門ですし、民間のアパートは高すぎます。低家賃で入居できる住宅や公営のアパートについて、検討をする時期に来ていると思います。</p> <p>この20年間で、人口は2,500人も減りました。子供もいて、医療もあまり負担なくてすみ、何よりも町の活気を与えてくれる若者の移住は大いに歓迎すべきことだと思います。これからのまちづくりには、人に投資することも大事なことだと思いますが、若者の定住促進、とりわけ住まいの確保について、どのようなお考えをお持ちかお聞かせ願います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
32	阿部 和則	賄材料費（給食材料費） について	<p>21年度予算で、賄材料費は、3保育所合計で1,638万円、小中学校合計で7,042万円あります。食材の地元事業者からの調達率を見ますと、保育所が100%なのに対して学校給食センターは20%以下と著しく低くなっています。</p> <p>一方で、給食の単価は、保育所で200円、小学生で250円、中学生で300円となっており、地元事業者から100%調達しても、さほど割高になる傾向にはありません。保育所は冷凍食品を使いませんから、むしろ、安心、安全な、身体に良い給食なのです。</p> <p>このように、<u>地元事業者からの食材の調達による給食</u>が、保育所でできていて、なぜ、学校給食センターでは出来ないのでしょうか？見積もりによる安さのみで発注しているとするならば、改善策はないのでしょうか？私は、少々高くても地元業者から調達し、仮に父母から頂く給食費との差額が出た場合は、町が負担すべきと考えておりますが、教育長のお考えをお示してください。</p>	教育長	
33	三島 喜吉	経済危機対策について	<p>国は経済危機対策の一環として平成21年度補正予算案として「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」1兆円、また「地域活性化・公共投資臨時交付金」1.4兆円が創設されております。</p> <p>俱知安町に対して1億5500万円の臨時交付金の予定になると試算が出ております。この臨時交付金については、地球温暖化対策・少子高齢化への対応・安心、安全の実現等、将来にむけた地域の実情に応じた事業の推進にむけた交付金であると言われております。</p> <p>この対策については地域の中小企業の受注機会の増加につながりますし、20年度の補正予算の執行も遅れている状況にあります。交付金が決定し早急に事業着手していくための準備に入っていくべきだと思いますし、どのように我が町としてこの交付金による事業展開をしようとしているのか、町長のご見解をお願いします。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
34	三島 喜吉	地域医療と産科医療について	<p>現在、医師不足等により地域医療が大変な状況にあると思います。俱知安厚生病院においても経営的に大変厳しい状況にあり、その打開策をさぐるべく、議論をされている最中であると思います。そのような中で産科医療についての町民から不安の話を聞く機会が多くありますが、後志の中でも産科を扱う病院は俱知安と小樽の病院であると思います。先日新聞報道により助産師さんによる診察を行うとのことで医師の負担増を軽減していきたいとの報道もありましたが、若い方々が安心して子供を産み育てる環境づくりが重要であると思いますが、いまの厚生病院の産科医療の現状についてご見解をお願いします。</p>	町長	
35	〃	進路指導・キャリア教育について	<p>児童・生徒が「生きる力」を身につけ、激しい社会の流れに流されることなく社会人として、職業人として自立していくことができる教育を目的にキャリア教育が実施されていますが、このことについて俱知安町では中学生の職業体験を昨年から実施していると伺っておりますが、まず、昨年どのような実績になっているかお伺いいたします。またこの事業については、これからも重要な位置づけになる事業と思いますし、多くの町民のみなさんに協力をいただきながら実施していく事業であると思いますが、今年度どのように取り組んでいく予定をしているのか、お伺いいたします。</p>	教育長	
36	鈴木 保昭	自衛隊俱知安駐屯地の拡充を	<p>表題の通りであります。とにかく俱知安駐屯地の存続に町長は政治生命をかけて取り組んでいただきたい。</p>	町長	
37	〃	ニセコ町に対しては、積極的に合併のアプローチしてみてもは	<p>俱知安のあるべき姿として、本町に求められている最大の課題は、羊蹄山麓の中核都市構想に向けた取り組みであります。平成15年12月 羊蹄山麓・ニセコ山系の町村がひとつになり、新たな地域拠点となることが期待され、各地域の独立性を生かしつつ羊蹄山麓一体の（次項へ続く）</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(37)	鈴木 保昭		<p>(前項より)</p> <p>効率的な連携、長期的視点のもとに近隣町村との一体的発展に向けて、町村合併が議論されたわけであり。しかしながら「合併を前提としない」町村合併協議会は平成16年12月17日頓挫したのは、御承知のとおりであります。以来数年経過しましたが、喜茂別・留寿都など合併協議されましたが道のりは大変厳しく、努力はされてきたものの破談になりました。このようなことでは、率直に言って羊蹄山麓一本化町村合併実現への道のりは遠いなと感じざるを得ません。むしろ後志広域連合の円滑な運営を行う中で、構想の機運を途切れることなく醸成していくと思えますし、連合の常に攻めの姿勢や積極的な意気込みに効果を感じるところであります。</p> <p>しかし、引き続き町村合併の必要性はあるとし、自主的合併の推進、自主的な合併に向けた議論の展開を期待していく必要があります。将来的に望まれる広域的な行政の姿を考えると、何らかのアクションを起こさない限り、進展していくことは到底無理なことは明らかであります。</p> <p>今後、合併することが望ましい町村として、倶知安・ニセコ町との組み合わせが、観光・行政区域・住民の交流などを軸として考えた場合、合併効果は期待できるものと考えます。そこで、私は次のことについて具体的に取り組んでほしいと思えます。</p> <p>一つとして、中核都市構想実現のため、本気でこれに取り組む体制として、プロジェクトチームをつくるべきであると考えます。</p> <p>二つとして、倶知安・ニセコを合併した場合の将来あるべき中核都市構想の夢、すなわちランドデザインを描き、内外に発信してはどうかと思えます。</p> <p>三つとして、関係町村に対して将来あるべき町村像について、もう一度同じテーブルで話し合う場を提起してみてもどうかと考えます。</p> <p>四つとしては、特にニセコ町に対しては、積極的にアプローチしてみてもいかがでしょうか。我々議会も、そのために努力を怠ってはなりません。もっと周りの町村から好まれるような魅力のある施策の展開と、発想の転換に努めなければなりません。更に幹部職員が定期的(次項へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(37)	鈴木 保昭		<p>(前項より)</p> <p>に意見交換の場を設ける事も大切であり、両町の民間交流や各種団体の連携や、交流・話しいの場づくりに行政は積極的に介入しては如何でしょうか。</p> <p>町長の御所見をお願いします。</p>	町長	
38	"	<p>倶知安の地球温暖化問題への取り組み・ライフスタイルの実践</p>	<p>平成20年3月、地球温暖化防止対策の推進に関する法律の一部を改正する法律が閣議決定され、その中で地方公共団体の実行計画の充実を求める通達が出され、本町においても倶知安地球温暖化対策推進計画を策定しましたが、実効は見えてきていないと感じます。</p> <p>近年、自動車の購入に際しても、政府はハイブリッド車のエコ減税など採用するなど、全国的には既に住民への新エネ、省エネ住宅などの導入の促進のための補助を拡大もしています。補助対象は、固定資産税を減額する制度で「住宅の省エネ改修促進税制」というのが正式名称と聞きますが、省エネ改修工事のためのローンに応じ所得税から控除する、省エネ改修工事を行った場合に、固定資産税の減税する。国や道の減税措置に合わせて町独自の取り組みを組み入れても良いかと考えます。あわせて次の質問にお答えください。</p> <p>一、町民に対する啓蒙活動をどう取り組んできたのか。またどのように今後進めていくのか。(役場職員が率先して徒歩・自転車通勤の実践など)</p> <p>二、エネルギー供給事業者(北海道電力、スタンド)、金融機関、商工会議所、消費者協会、建設協会などが協働してその普及に各界との協力体制の取り組みと、役場内に省エネ相談員制度について検討すべきかと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、電気給湯器はじめ省エネ製品に補助制度の拡大を検討してみたいかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>次に、教育長にお伺いしますが、校庭の芝生化についてであります。全国的に校庭の芝生化が導入されつつあると聞いています。10年後、20年後を見据えて、環境負荷の少ないまちを実現のため、既に(次項へ続く)</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(38)	鈴木 保昭		<p>(前項より)</p> <p>設置しているところからは、子供たちが落ち着いてきたとか、砂ぼこりの抑制や水はけの改善にもなり、加えて土の校庭に比べて8.3度の温度差が見られたとのさまざまな報告がされています。これらの効果についてどのようにとらえ、取り組みの方法を検討されたことがありかどうか、また将来芝生化について取り組んでいく考えはありなのかどうかお伺いします。適正配置計画の中学校の改築がされますが、あの黒松内のような太陽光を利用した校舎をモデル検討されるのも効果的かと考えますが、今後どのように取り組みをされ、また対処するおつもりなのか、いずれにしても、以上、地球温暖化対策としての積極的な取り組みであり、国の支援策の補助金も調査、研究し、その実施に向けて具体化してほしいと願うものであります。</p>	町長 教育長	
39	〃	町民一人ひとりが力をあわせながら身近な課題を解決できる仕組みづくりに取り組んで、だれでも安全で安心して生き生きと暮らせる地域社会を	<p>国や地方自治体が当面する課題は数多く抱えたといえます。</p> <p>また同時に、俱知安を取り巻く状況も一段と厳しさを増していますが、昨年までの外国投資による不動産ブームは天と地ほどの変わりようです。しかしながらこの夏の観光客の傾向をみても、その高級感あるコンドミニアムを利用する長期滞在者が増えています。姉妹都市45年の世界のサンモリッツ。あの高級リゾート地に少しでも近づいているのを感じます。</p> <p>今こそチャレンジ精神を發揮して力と知恵を出すときであり、それが求められていると言えましょう。</p> <p>私は、福島町長の町民が主役のまちづくりに向けた取り組みを進めていくことを町政運営の基本理念としていることと理解しています。社会福祉の充実など事業の着実な推進を図るとともに、安定的な財政基盤の確立と、幾つかの諸課題を取り組むにあたって、対話を基調とした参画と協働、情報の共有による町政運営を柱に町民と協働型社会を構築していくとの強い決意が示されています。そして、「心がかよう 笑顔あふれるまち・俱知安」の実現に取り組んできたところであります。これからも諸施策がよりスピーディーに展開し、町民力、(次項へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(39)	鈴木 保昭		<p>(前項より)</p> <p>地域力が発揮できる町政運営に努めていただきたいと、強く期待をしているところであり、もちろん、議員自ら住民コミュニティ活動に積極的に参画しなければなりません。</p> <p>町民と行政の協働を進めることは、町民一人ひとりが力をあわせながら身近な課題を解決できる仕組みづくりに取り組んで、だれでも安全で安心して生き生きと暮らせる地域社会を築き上げることを目指して、自分たちでできることをみずからも考え、実行していくことだと思います。地域実態や特徴に応じながら創意工夫を生かし、行動することによって個性豊かな地域づくりに進むものと思います。</p> <p><u>そこで、幾つかの事業を進められる中で、協働の土壌が育ってきたと実感されることがおありでしょうか、またどのくらい地域で取り組まれ、財政的効果とすれば、どの程度の金額になるのか、検討されたことがおありでしょうか、お伺いします。</u></p> <p>閉塞感のただよう今日のご状況でございます。福島町長を先頭に、職員一丸となってこの難局に立ち向かい、明るい展望を切り開いていくことこそ俱知安の未来があることを忘れずに、肝に命じて邁進してほしいと思いますが、町長の決意のほどをお示しいただきたいと思ます。</p>	町長	
40	"	発達障害者に対する支援	<p>従前、子供たちの障害に気づかず、乱暴な性格、やる気の問題などと片づけられてしまった往時に比べ、発達障害が正しく理解される機運が高まったことは大きな進展だと思います。</p> <p>しかし、法律や方針ができて、具体的な支援体制の整備はこれからの課題であります。これからの社会において保育所や幼稚園、そして学校現場はじめ社会においても最近ますます増加傾向にある中で、きめ細かい対策が求められている問題であるだけに、万全を期せられよう願う意味で質問させていただきます。</p> <p>既に御承知のとおり、文部科学省の調査報告書によると、小中学校の通常の学級に在籍するADHD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習(次項へ続く)</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(40)	鈴木 保昭		<p>(前項より)</p> <p>障害) 高機能自閉症などの可能性のある子供は、全国で6.3%、実数にすれば約69万人とのことです。国で定めた発達障害者支援法の目的は、発達障害者を早期に発見し、早期に支援を行うことを国や地方公共団体の責務とするとともに、学校教育における発達障害者への支援を推進するところにあります。</p> <p>しかし、現実はどうかということ、学校では子供たちの言動が性格によるものなのか、障害によるものなのか判断に迷うケースも多く、先生の判断次第で対応がかなり違ったものになる可能性が出てきているのではないのでしょうか。要は、子供の特性を正確に把握することが具体的対策につながることであり、周囲が早く気づいて適切な支援を受けられるようなシステムづくりが大事だと言われています。</p> <p>そこでお尋ねしますが、本町で発達障害の児童生徒の対応について、現在の課題は何かについてお伺いします。例えば全校生徒500人の学校であれば、少なくとも10人の発達障害者の子供がいる計算になりますが、一人ひとりの症状も違いますし、その子に合った対応が必要ですが、全校の先生が専門的な知識のため順次研修していく機会を与えてはいかがでしょうか。</p> <p>発達障害者は、社会的に十分理解されていない中で、このような事業は意義ある取り組みと考えます。したがって、今後福祉課、教育委員会、病院などと連携を密にし、障害の発見方法、支援策、受け入れ態勢などその整備に向けての方策が必要かと考えますが、御所見をお伺いします。</p> <p>発達障害のある乳幼児や児童生徒の発達を促進し、就学環境の適応性を高めるためには、個人の特性に応じたきめ細かい長期にわたる社会的な連携支援体制が不可欠であります。このような取り組みは、中学生以下の児童生徒に比較すると、義務教育を終えた高校生や成人に対しては十分とは言えず、生活支援や就労支援などそのニーズに応じた新体制の整備も必要かと考えますが、いかがでしょうか。</p>	教育長	